

創立45周年記念



札幌フィルハーモニー管弦楽団

第55回

定期演奏会

ヴェルディ

歌劇「運命の力」序曲

歌劇「アイーダ」より

凱旋行進曲

レスピーギ

交響詩「ローマの噴水」

交響詩「ローマの松」

オーケストラのイタリアン、
フルコースで召し上がれ♪

2016

10/9日

開場 13:30

開演 14:00

わくわくホリデーホール

(札幌市民ホール)

札幌市中央区北1条西1丁目 TEL:011-252-3700

地下鉄大通駅よりすぐ(31番出口正面)



指揮とお話
松元 宏康

入場料

前売・当日 **1,000円** (全席自由)

チケット販売

ローソンチケット(Lコード11531)、
大丸プレイガイド、教文プレイガイド
札幌フィルホームページ <http://sapporo-phil.net/>



【主催】札幌フィルハーモニー管弦楽団

【後援】札幌市、札幌市教育委員会、北海道日伊協会、読売新聞北海道支社、朝日新聞北海道支社、北海道新聞、毎日新聞北海道支社、
AIR-G' エフエム北海道(順不同) 【問合せ先】札幌フィルハーモニー管弦楽団事務局 伊東(080-3237-2595)

札幌フィル45周年記念演奏会、
秋のメニューは・・・



Verdi&Respighi …オール・イタリアプログラム!

まずは前菜・・・“アンティパスト”には、オペラで有名なイタリアの作曲家・ヴェルディの「運命の力」序曲でございます。続く1つめのメイン料理“プリモ・ピアット”は、こちらもイタリアの作曲家・レスピーギのローマ3部作より交響詩「ローマの噴水」をご用意しました。2皿目ではありますがバスタのようにしっかりと重厚です。ここで口直しの“ズッパ(スープ)”・・・再びヴェルディによる「アイーダ」から凱行進曲でございます。少々濃いめではありますが、胃ならぬ耳に活力を取り戻していただいたあとは、いよいよ2つめのメイン料理“セコンド・ピアット”・・・こちらもレスピーギ・ローマ3部作からとりました交響詩「ローマの松」でございます。歴史・情緒・迫力あふれる一皿にご満足いただけましたら、「ドルチェ」をどうぞご所望ください。本日のシェフは、札幌フィル4年ぶりとなります松元宏康氏。札幌フィルの個性豊かな素材たちを、どのように料理いたしますか・・・どうぞ会場にて味わってください。



【指揮】松元 宏康

Hiroyasu Matsumoto

東京都生まれ。幼少よりピアノ、エレクトーンを学び、洗足学園音楽大学ならびに同大学附属指揮研究所マスターコースを経て、2006年仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者に就任しプロ指揮者としてのキャリアをスタートさせた。その後、仙台フィルハーモニー管弦楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉、東京佼成ウインドオーケストラ、シエナウインドオーケストラ、東京吹奏楽団などに定期的に客演、2009年には沖縄で新設された琉球フィルハーモニックの初代専任指揮者に就任、2012年には正指揮者に就任する。これまでにエリック・オービエ(Trp)須川展也(Sax)金子三勇士(Pf)中野翔太(Pf)稲垣潤一(Vo)渡辺真知子(Vo)西川貴教(Vo)三橋貴風(尺八)植松伸夫(Comp)坂本英城(Comp)など、国内外を代表する幅広いジャンルのアーティストとの共演も数多い。若手指揮者としてクラシック音楽を伝統的なスタイルでしっかりと聴かせつつ、コンサートでのトークでは軽妙さとわかりやすさから多くの世代のファンが多い。吹奏楽への造詣も深く、東京佼成ウインドオーケストラで「文化庁：文化芸術による子供の育成事業公演」「2010年度全日本吹奏楽コンクール課題曲審査会」、シエナウインドオーケストラでは大ヒットCD「BRA☆BRA FINAL FANTASY BRASS de BRAVO」「THEテーマ」のレコーディング指揮を担当、東京吹奏楽団では最年少で定期演奏会に招聘され、真島俊夫氏の新作を初演するなど多くの実績を残す。近年の活動はメディアにも度々取り上げられ、「基礎のしっかりした音楽作りが底流にあり、松元の構成観の確かさと、雄弁な棒のテクニックが説得力に直結している」(レコード芸術)「見事な造形で豊かな音楽観によって作品を入念に仕上げていたように思う。テンポの変化の妙味に特筆すべき物が感じられ、期待したい指揮者」(music pen club Concert Review)と評される。ここ最近では、大韓民国文化庁や台湾嘉義市主催の音楽祭に招聘されるなど海外での活動も行いつつ、国内主要プロオーケストラへの出演が年間50公演以上を数えるなど、注目される指揮者の1人である。指揮法を秋山和慶、河地良智、増井信貴の各氏に、スコアリーディングを島田玲子氏に、クラリネットを松代晃明氏に師事する。現在、琉球フィルハーモニック正指揮者、ブリッツフィルハーモニックウインズ音楽監督、VIVID BRASS TOKYO首席指揮者、洗足学園音楽大学講師。

【演奏】札幌フィルハーモニー管弦楽団

昭和46年(1971年)1月に創立された札幌で最も歴史のあるアマチュア市民オーケストラ。第1回定期演奏会は、昭和47年5月27日、旧札幌市民会館にて開催された。定期演奏会では、交響曲を中心に、協奏曲にもとりくみ、多くの著名な演奏家と共演しており、近年は海外の音楽家とも共演している。

また、親しみやすい名曲を集めた「ファミリーコンサート」や市内小学校での「音楽教室」なども開催している。平成13年(2001年)11月以降、3度にわたり札幌市の姉妹都市である、米国ポートランド市を親善訪問し、地元の市民オーケストラと親善合同演奏会を開催、成功を収めている。

また、札幌以外では、新十津川町、北広島市、清水町、浦河町、長沼町、岩内町など道内各地で演奏会を開催、地元の皆様に生(なま)のオーケストラ演奏をお届けしている。こうしたさまざまな活動が札幌市の文化振興に貢献してきたとして、平成17年秋には、「平成17年度札幌文化奨励賞」を受賞した。

現在、団員は70名。10代の学生から70歳をこえるプレイヤーまで、札幌団員をはじめとする諸先生方のご指導もいただきながら、ともに音楽を楽しみたいという気持ちでひとつになり毎週土曜日夜に練習をおこなっている。

札幌フィル団員募集中!

一緒にオーケストラで演奏しませんか?

現在札幌フィルでは弦楽器奏者(ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス)を募集中です。基本的に大学オケ程度の経験があれば問題ありません。練習は毎週土曜日18時からです。見学だけでもお気軽にどうぞ。

(お問い合わせ:ホームページまたは伊東080-3237-2595まで)

点字プログラムのご案内



札幌フィルでは、目の不自由な方にも演奏会を楽しんでいただくため、点字プログラムをご用意しております。チケットをご購入の上、事前にお申し込みいただければご用意いたします。詳しくはホームページにてご確認ください。

札幌フィルホームページ

<http://sapporo-phil.net/>

札幌フィル

検索

楽団紹介・演奏会情報・チケット購入
※フェイスブック始めました。